

令和 7 年第 2 回定例会一般質問通告事項

村 井 温 子 議 員（潮風おのみち）	質問方式：一問一答方式
6	1 学校給食を「まちづくり」の施策へ 尾道市では学校給食における地産地消率（市内産）15％を目標に掲げているが、実際には令和5年度に7％台まで低下し、目標達成が危ぶまれる状況。食材価格の高騰や生産者の高齢化など複合的な課題に直面する中、学校給食は単なる教育の一環ではなく、一次産業、環境、地域経済、福祉を支える社会インフラとして再定義し、持続可能な地域づくりの柱とすべき。先進事例では、ふるさと納税の活用や環境保全型農業との連携が進められており、尾道市においても学校給食を軸とした包括的な「食とまちづくり」プロジェクトの構築を提案する (1) 令和6年度学校給食における地産地消率の実績を伺う (2) 令和11年度までに15％という目標に対する進捗の課題・今後の見通しを伺う (3) 地産地消コーディネーター、学校給食協議会の設置の検討状況を伺う (4) 部局横断的な連携体制整備についての市の見解を伺う (5) ふるさと納税の活用の可能性について伺う (6) 食とまちづくりプロジェクトの立ち上げを提案する
月	
19	2 不登校支援×学校給食 不登校児童生徒の保護者にとって、外出機会や他者との接点の減少、給食費と自宅等での昼食費の二重負担など、多くの課題がある。東京都八王子市では、不登校の子どもたちに対し給食センターでの食事提供を開始し、社会とのつながりと生活基盤の両面から支援している。尾道市でも、同様の仕組みを導入することができないか伺う
日	